

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-152215 (P2018-152215A)
【公開日】平成 30 年 9 月 27 日 (2018.9.27)
【年通号数】公開・登録公報 2018-037
【出願番号】特願 2017-46959 (P2017-46959)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/42 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 R 13/42 E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 23 日 (2019.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

第 1 収容室に端子ユニットを挿入したときは、第 1 係止部を第 1 ランスに係止させるとともに、フロントリテーナを第 1ハウジングに取り付けて第 1 ランスの弾性撓みを規制することで、端子ユニットを確実に抜止めすることができる。第 2 収容室に端子ユニットを挿入したときには、第 1 係止部を第 2 ランスに係止させるとともに、第 2 係止部にサイドリテーナに係止させることで、端子ユニットを確実に抜止めすることができる。端子ユニットは、タイプの異なる第 1ハウジングと第 2ハウジングに対して共通の部材として使用することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

第 1 部品 37 は、前後方向に細長い上壁部 38 と、上壁部 38 の前端縁から下方へ延出した前壁部 39 と、上壁部 38 の左右両側縁から下方へ延出した左右一対の側壁部 40 とを有する。前壁部 39 には、相手側導体を挿入させるための左右一対の挿入口 41 が、貫通形態で形成されている。第 1 部品 37 には、上壁部 38 の前後方向中央部から下方へ延出した隔壁部 42 が形成され、一対の側壁部 40 と隔壁部 42 との間の領域は、前後方向に細長い左右一対の溝部 43 となっている。左右一対の側壁部 40 の外側面には、段差状をなす左右一対のロック部 44 が形成されている。